

祝40周年!
渋谷PARCOは何を創ったのか!?

BRUTUS
Casa

MAGAZINE HOUSE MOOK extra issue
カーサ ブルータス特別編集

ALL ABOUT SHIBUYA PARCO

篠山紀信 / エリイ / Chim ↑ Pom / 糸井重里 / 本谷有希子
伊藤弘 (groovisions) / THEATRE PRODUCTS / 入江悠
mintdesigns / 立川志の輔 / 山口壮大 / 佐藤可士和
山口はるみ / 植原亮輔 (キギ) / 井上嗣也 / 箭内道彦
蜷川実花 / 猪子寿之 (teamLab) / 田名網敬一 / 伊藤桂司
大宮エリー / 浅田政志 / みうらじゅん / リリー・フランキー …etc.



Chim↑Pom

エリイ、降臨

on SHIBUYA PARCO

撮影_篠山紀信

ファッションアイコンとしても注目を集める、
アーティスト集団〈Chim↑Pom〉のエリイ。
国内外の旬なアイテムが揃った渋谷パルコで
エリイが見せる東京ファッションの“現在”。

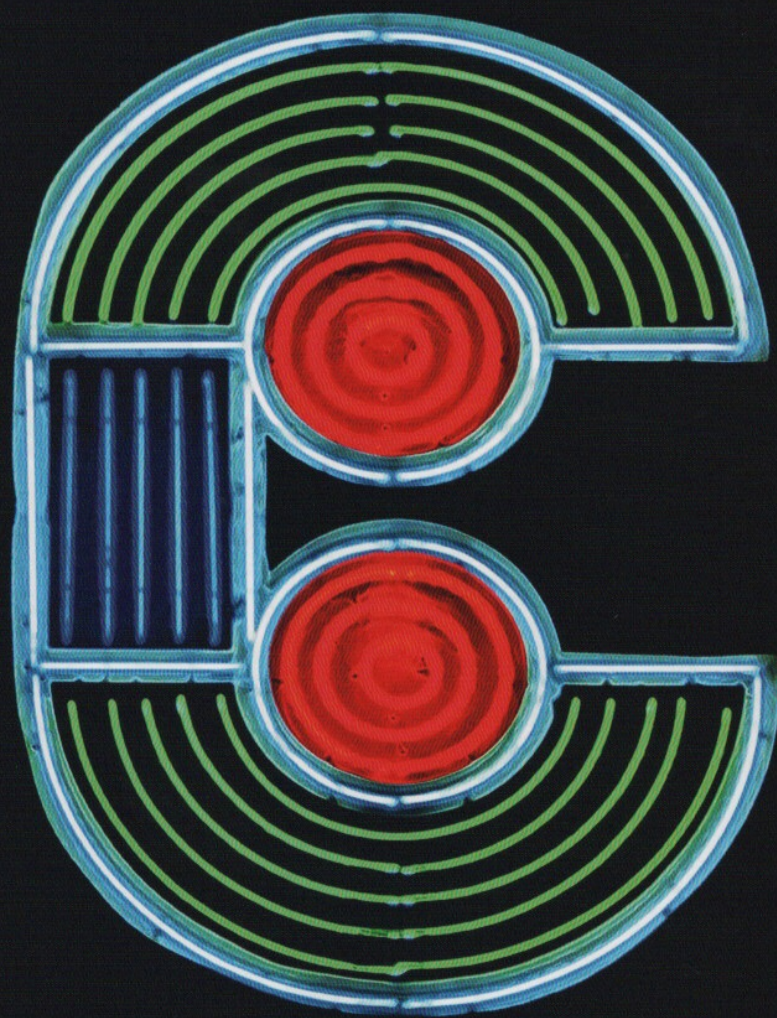
styling_Naoko Shilina (aosora)
hair_Kenichi for sense of humour (eight peace)
make-up_Uda (S-14) editor_Jun Ishida



パート1屋上

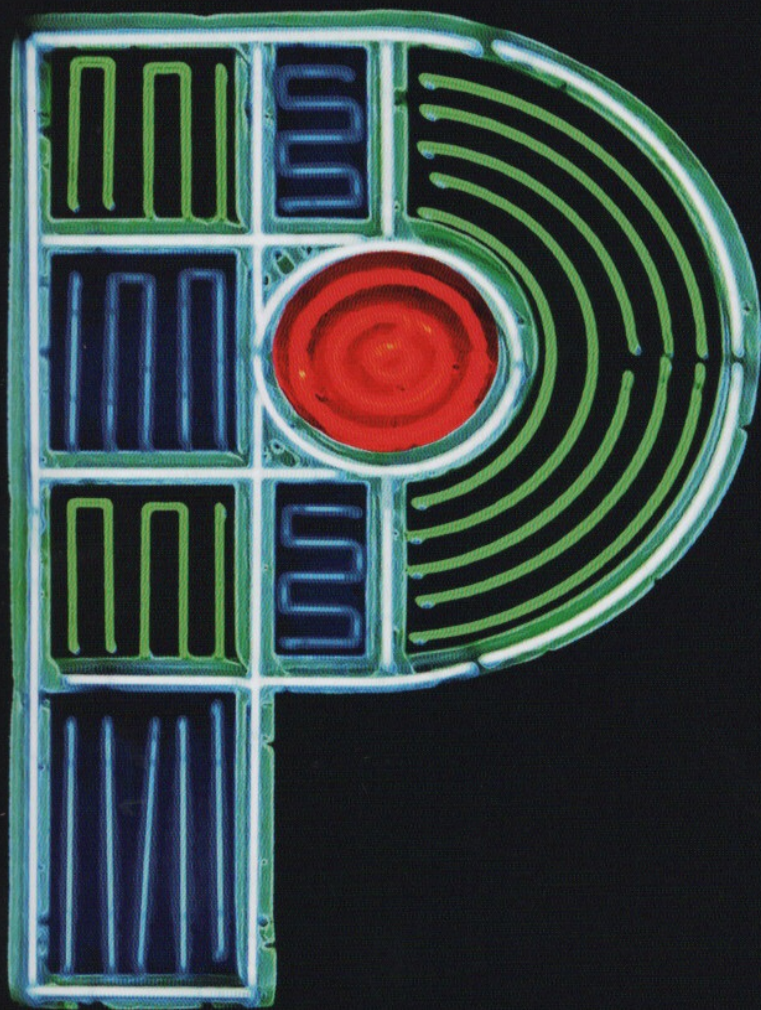
渋谷ハルコ・パート1の屋上で
を放つカラフルなブロックロコ
81年にパート3がオープンする
ザインされたもの。

リボンベルト付きワンピース
円 (ミュウミュウ/ブラダジ
カスタマーリレーションズ☎03
・914)。5連プレスレット3,990
ディア カイバー/アナザーエ
ョン渋谷店☎03・5459・3792)。
ブ (スタイリスト私物)。



MY PARCO

2012年にバルコミュージアムで行われた『Chim↑Pom展』のフレイヤーより。パート1の外壁に付いた「PARCO」のネオンサインから「C」と「P」を外して、ミュージアム内に設置した作品《PAVILION》が、そのままデザインのモチーフに使用された。



クリエイター10組と渋谷PARCOの冒険。

オープン以来、名だたるクリエイターたちと突っ走ってきた渋谷バルコ。
40周年を迎えたいま、第一線で活躍しているクリエイターたちが
この場所だからできた冒険、これからやってみたい冒険について語ります。

photo_Tetsuya Ito (portraits)

text_Sawako Akune, Takeshi Kudo (Rocket Company*/RCKT) (p.18~21),

Chisa Nishinoiri (p.22~23, p.34~35), Katsumi Watanabe (p.26~27)

editor_Akio Mitomi



地下駐車場

パート1とパート3をつなぐ地下駐車場。緑の路面に黄の柱という鮮やかな色のコントラストが、グラフィカルな近未来的空間になっている。

ジャケット50,400円、チューブトップ10,500円（共にLIMI feu ☎03・5769・3900）。クラッチ59,850円（ミュウミュウ／プラダ ジャパンカスタマーリレーションズ ☎0120・599・914）。イヤリング12,600円（シアタープロダクションシアタープロダクション谷ハル ☎03・3477・5911）。バングル11,550円（Y's／ワイズ インフォメーションデスク ☎03・5463・1540）。シューズ34,965円（Ouss ☎03・6826・8083）。

バルコ劇場

渋谷バルコ開業と同時に誕生したバルコ劇場（当初は西武劇場）も今年で40周年。気鋭の演出家や脚本家が挑む、演劇界の実験場としても有名だ。ブラウス15,750円、パーカー21,000円（共にブラック・コム・デ・ギャルソン ☎03-3486-7611）。シューズ60,900円（ANREALAGE / ぴゅるこ ☎03-3477-5828）。その他スタイリスト私物。





エリイ アーティスト集団、Chim↑Pom
のミューズ。時代のリアルに全力で介
入した強い社会的メッセージをもつ作
品を次々と発表し、国際展をはじめと
して海外でもさまざまなプロジェクト
を展開。Chim↑Pomの主な著作に『芸
術実行犯』（朝日出版社）、『SUPER
RAT』（バルコ出版）など。

パート1公園通り広場

パート1の建物が面する公園通りの名
称は、渋谷バルコ開業時につけられた。
「PARCO」のネオンサインは夜間に点
灯し、通りを照らす。
ワンピース16,800円（2% TOKYO/2
% TOKYO 渋谷バルコ店☎03・6416・47
64）。ネックレス5,040円（アナザーエ
ディション/アナザーエディション
渋谷店☎03・5459・3792）。



パート1エレベーター

パート1の5階に登場した〈ONE PIECE 麦わらストア〉のオープンを記念して、3基あるエレベーターの1基は、ONE PIECE仕様に变身。

Tシャツ35,700円 (AMERICAN RETRO / The Dayz tokyo ☎03-3477-5705)。ショートパンツ11,500円 (The Dayz tokyo)。レギンス4,935円 (アゴスト / アゴスト ショップ ☎03-6434-5146)。ピアス38,850円、プレスレット48,300円 (共に IOSELLIANI / goldie H. P. F RANCE ☎03-5778-2022)。シューズ57,750円 (ANREALAGE / びゃるこ ☎03-3477-5828)。その他本人私物。



photo_Kenji Morita



2

CREATORS' MY PARCO



photo_TAKAMURADAI SUKE (NANOOK)



photo_Kenji Morita

1「C」と「P」が外された渋谷PARCO。巨大なゴミ袋は、中に入ってゴミの気分を味わうという、消費を皮肉る作品《Gold Experience》。2「P」の裏に残されたChim↑Pomのサイン。3 ネオンサインの撤去作業中。4「C」と「P」は、クイーンなどの楽曲に合わせて点滅する作品《PAVILION》に。5 アパレルショップを再現したインスタレーション《S-H-O-P-P-I-N-G》。



photo_Kenji Morita

パ ルコ・パート1の前に
突然出現した巨大なゴ
ミ袋。見れば外壁の
「PARCO」のサインから「P」
と「C」が消えている……！ 2
012年の秋に起きたその光景を
覚えている人も多いのではないか
(写真)。衝撃的なその風景は、
アーティスト集団《Chim↑Pom》
が生んだもの。パルコミュージア
ムでの個展の一部として、建物ま
で巻き込んだ作品だった。

「商業施設に回収される展示会は
つまらない。かといって回避する
のでもなく、上手くコラボレーシ
ョンできないか考えました」(卯
城さん)とメンバーは振り返る。
そもそもChim↑Pomと渋谷の
結びつきは強い。岡本太郎の巨大
壁画《明日の神話》に福島第一原
発の絵をつけ足した作品は渋谷駅
の構内だし、カラスの群れを呼び
寄せ都内を巡る作品《BLACK O
F DEATH》にも渋谷が登場した。
「会議するのも撮影するのにも渋谷
だし、何か困ったら渋谷で探そう
自分たちにとっては完全なホー
ム(卯城さん)」という街での個
展に至るまでのプロセスも、なか
な刺激のあったものだったよう。

大胆すぎる提案も 受け入れる特有の雰囲気。

「最初に持っていたプランはパ
ルコの商品を全部外に出してしま
うというもの。結局NGだったけ
れど、ウケてはくれた。こういう
ものを持ってきてもいいんだとい
うのは、驚きつつも弾みになりま
した」(林さん)
いくつもの案を出しては話し合
い、最終的に生まれたのが写真1
の風景。さらにミュージアム内部
では、ショップの再現にドギつい

ペイントを施したり、実物の「ミ
ニ」を展示したり、「消費」のあらゆ
る側面がアイロニカルに展開され
た。そしてサインを外す一大事も、
「いよいよ社長決断を残すのみの
段階になったとき、社長宛てに作
品のコンセプト文を急遽作成しま
した。ここで拒否されたらおしま
い、ということでもかなり気合を入
れて書きましたが、『C』や『P』
がそこにある時点で、すでにやれ
て言ってるようなもんですよね」
(岡田さん)との思いが通じ、「P」
と「C」とがBGMつきで明滅す
る展示となったのだ。
「こんなこと、やってもいいの？
ということまでゴーを出してもら
えたり、サインを外す現場が妙な
盛り上がりを見せたり。面白いこ
とをやってやろうという意地とい
うか……、パルコ特有の雰囲気か
あることを知りました」(林さん)

Chim↑Pom

*アーティスト集団

PARCOと一緒に
一線を踏み越えた感じ。



チン↑ポム 2005年8月東京で結成し、タブーに迫る作品群で世界的に評価を受ける。メンバーは写真家より稲岡次、柳城竜太、岡田将孝、水野俊紀、エリイ、林靖高の6人。7月23日まで岡本太郎記念館にて「PAVILION」展を開催中。<http://chimpom.jp/>